

2007年7月19日

平成19年新潟県中越沖地震に対する都市ガス事業の対応について
[応援隊の増強について]

社団法人 日本ガス協会

社団法人日本ガス協会（会長：野村明雄）は、7月18日、柏崎市ガス水道局（ガス供給戸数 柏崎市と刈羽村に約3万4千戸）の都市ガス復旧作業支援のため、都市ガス事業者23事業者から総勢1,024名の応援隊を派遣することを決定し、同日記者発表いたしました。

本格的な復旧作業開始から2週間程度の作業を目途として応援隊規模を決定しましたが、地下水位が高いため道路内に埋設されたガス管内に水が混入している可能性もあり、ガス管内の水の有無の検出と排水のため、さらに日数を要することが予想されます。

日本ガス協会ではこのような状況を踏まえ、本日、都市ガス事業者3社から特殊資機材で作業する応援隊を追加で派遣することを決定し、出動準備に入りました。（*特殊資機材…管内テレビカメラ、採水装置、ポンプ等）

増強する応援隊（合計100名）の内訳は、次のとおりです。

- ・大阪ガス株式会社：51名
- ・東邦ガス株式会社：39名
- ・西部ガス株式会社：10名

大阪ガス・東邦ガスは7月20日、西部ガスは7月21日、現地へ到着する予定です。今回の増強の結果、日本ガス協会からの応援隊は、総勢1,124名となります。

なお、復旧までの間の対応として、移動式ガス発生設備（20台）やカセットコンロ（4,300台）を手配しており、準備を完了しています。